

日本の歴史と文化を体感する会＝略称:歴文体(REKIBUNTAI)
第八回 「端唄:江戸の情緒を味わってみませんか」

2026年1月吉日

歴文体(REKIBUNTAI)とは

関学は Mastery for service をモットーにしているものの、同窓会には「研鑽」できるようなサークルは少ないです。日本人として、すばらしい歴史や文化を知らずにいるのは残念なことですが、敷居が高く、取つきにくい方もいると思います。「歴文体」は今まで体験することが出来なかつた方々に触れていただく機会を提供します。深く知る必要はなく、また、入門を勧めるわけではなく、「入口」を提供し、日本の歴史や文化のすばらしさ、奥深さを体験、体感して欲しいと思っています。

Let's REKIBUNTAI ! (歴史と文学を体感しましょう)

第八回 「端唄:江戸の情緒を味わってみませんか」

日時:2026年3月14日(土)AM10:00~12:00

場所:杉田地区センター 工芸室(京急杉田駅)

参加費:3,000円 当日集金

終了後、近くでランチ会(2500円ぐらい)

締切:2026年3月7日(土)

定員:24名

担当:楳良生・高木紀世子

協力:武藤陽子

小唄・端唄・都都逸など江戸時代に流行した三味線音楽があります。有名な端唄の「奴さん(やっこさん)」「さのさ」「深川」などは皆様もご存じだと思いますが、「端唄ってなあに?」とよくわからぬと言う方もおられるでしょう。今回は端唄の演奏家の崎秀五郎さんをお迎えして、生の三味線とその唄を味わって、江戸時代の風情を楽しんでいただきたいと思います。できれば、やさしい唄を私たちも唄えるようになると嬉しいなと、お願ひしました。また、「蛙ひとひよこ」を教えていただけることになりました。

みなさん、ぜひ、ご参加下さいませ。

講師プロフィール

崎秀五郎(さき しゅうごろう)

1975年(昭和50年)11月25日生 名古屋出身)

民謡・端唄の三味線演奏家、胡弓演奏家。

傭奏楽・江戸端唄・民謡・三味線現代曲を伝承する本條流の本條秀太郎に師事、2021年独立。TVや映画の三味線指導や三味線演奏をする。NHK大河「龍馬伝」では、龍馬役の福山雅治、高杉晋作役の伊勢谷友介に三味線の指導をした。その他の三味線指導は林隆三、中井貴一など多数。全国各地に民謡・端唄教室を主宰。



参加申込・問い合わせ

下記メールアドレスに申し込みください。申し込みの際、下記をご連絡ください。

- ① 名前、卒年、学部
- ② ランチ会の出席／欠席

なお、ランチは締切り後のキャンセルはキャンセル料が発生する場合があります。

paksara3t@gmail.com (高木)

世話役: 横 良生(代表世話役)、高木紀世子、石川幹夫、水野裕子

賛同者: 多根伸彦、牧田夫佐子、多比良恵子、山田清、齊藤真哉

REKIBUNTAI 次回以降の予定(奇数月の第2土曜日)

第9回 2026年5月9日(土) 内容未定

今までのREKIBUNTAI

第一回:「茶道」、第二回:「歴史」(イザベラ・バード)の話、第三回:「能」(鑑賞含む)、第四回:「寿司をにぎろう」、第五回:「香道」(荷葉を聞く)、第六回:「歴史」の話(坂田三吉)、第七回「書道」
